

# 情報連絡員報告総括表(平成30年1月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況								
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化						
製造業	食料品		3	1		3	1	2	2			3	1	1	1	2		3	1		3	1		4			2	2					
	繊維工業	1	2			3		1	1	1		2	1		2	1		2	1		3			3			2	1					
	木材・木製品			1		1			1			1			1			1				1			1			1					
	紙・紙加工品		2			2		2			1	1		2			2			1	1		2			2							
	印刷		1			1			1		1			1			1			1			1			1							
	化学・ゴム																																
	窯業・土石製品	1		2	1	1	1		3		3			2	1		3		1		2		3			3							
	鉄鋼・金属	1				1			1		1		1				1		1				1		1								
	一般機器	2	1			2	1		3		3		1	2			3		1	2		1	2		1	2							
	電気機器	1				1			1		1		1			1			1			1			1								
	輸送機器	1				1			1		1			1			1		1			1			1								
その他																																	
小計	7	9	4	1	16	3	5	14	1		16	4	4	11	5	1	17	2	5	10	5	3	17		4	12	4						
非製造業	卸売業	1		1		1	1		1	1		2		1		1	1		X				2		1		1						
	小売業		5	1	1	4	1	3	3		4	2		3	3		3	3							5	1		2	4				
	商店街		1				1		1		1				1		1								1			1					
	サービス業		1	4	X				5		5			3	2		3	2								5		1	3	1			
	建設業	1	2	1					3	1		3	1		3	1		3				1		3	1			3	1		3	1	
	運輸業	1							1		1		1				1					1						1				1	
	その他		1						1		1		1			1		1					1					1			1		
小計	3	10	7	1				5	3	3	15	2	1	16	3	1	10	9	1	13	6				18	2	2	10	8				
合計	10	19	11	2				21	6	8	29	3	1	32	7	5	21	14	2	30	8	5	10	5	3	35	2	6	22	12			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年1月～平成30年1月)

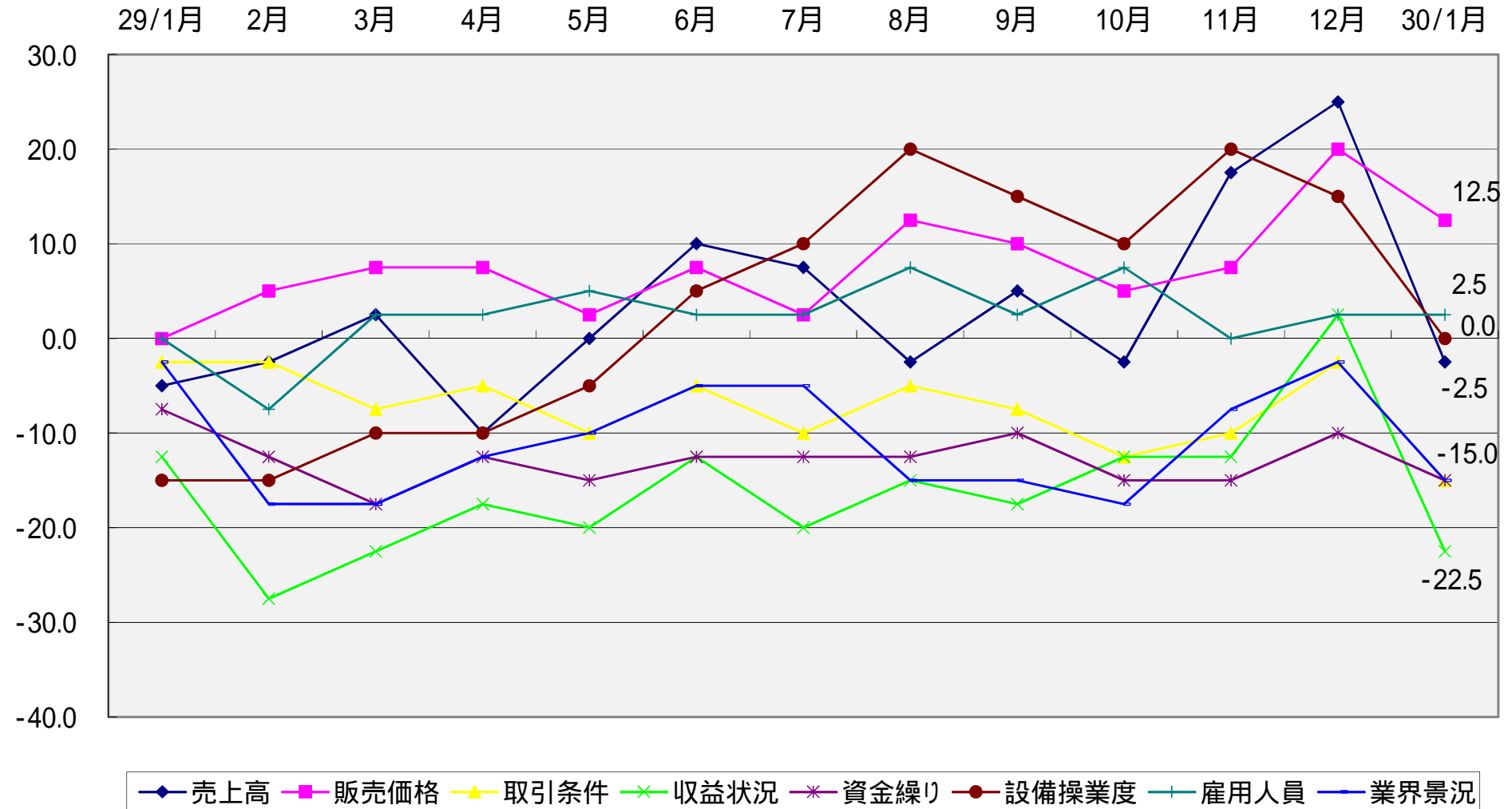
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	増減
売上高	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	-27.5
販売価格	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5	-7.5
取引条件	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-12.5
収益状況	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-25.0
資金繰り	-7.5	-12.5	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0
設備操業度	-15.0	-15.0	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	0.0	-15.0
雇用人員	0.0	-7.5	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0
業界景況	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-12.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成30年1月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	県内漬物製造業界の主力商品である「浅漬類」の主原料である白菜やひの菜等は、播種や初期生育時である10月の長雨や台風等の影響により、県内はもとより、全国的な不作に伴い、原料価格は平年の2倍から4倍程度の上昇で推移し、製造原価を大幅に押し上げている。このため、販売価格等に若干反映されているものの、各企業における経営努力では、吸収できない状況となっている。
		醤油味噌	昨年は、醤油・味噌ともに全国においては、中小企業の売上は前年割れであったが、当県での売上は増加した。醤油加工品は、全国でも売上は増加した。定番となったイベントである「三重・しょうゆ街道」は、3月16日(金)～18日(日)にイオンモール沖繩ライカム店にて開催の予定であり、4月13日(金)～15日(日)には、イオン東員店に出展する。県内小学校へのしょうゆ出前授業は、今期は62件の開催予定である。
		豆腐	ガソリン、灯油が高値のためその分収益は減少した。
		製麺	年末年始は、伊勢神宮では、初詣の参拝客も多く、伊勢うどんの売れ行きも良かった。今年度も伊勢うどんのイベントに積極的に参加して、知名度を上げていきたい。HACCPの勉強会も今後、各組合員が参加できるように周知していきたい。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	年明け後も寒い日が続き、冬用食品を中心に昨年と同程度の出荷量である。材料となる段ボールシートの値上げは浸透した。次は段ボール製品の値上げをお客様にお願いし、徐々に値上げが決定している状況である。
		古紙	新年1月の取り扱い重量は、前年比：段ボール・約96±5%位、新聞、チラシ・約87±4%位、雑誌、雑紙、その他合わせて約89±9%位の模様である。段ボール古紙は、前年並みのところもあるが、前年割れのところも多い。そして、新聞古紙と雑誌古紙の集荷量は、軒並み前年割れである。12月から年末年始にかけて、各製紙会社に古紙の大量入荷があり、古紙在庫が多い。原因は、中国の再生原料の輸入規制が主な原因で、古紙の輸出価格は大幅に下落した。しかしながら、中国向け古紙も少しずつは流れているようである。現在、集荷、出荷、梱包の部門にも各社従業員の確保が大きな問題となっている。
	印刷	印刷	年度末の繁忙期に向けてようやく受注が増加してきた。しかしながら、この時期は、印刷の前段階の制作等に作業が集中するため製品の納品には至らぬものが多く、収益の増加につながるのは次以降になる。
	窯業・土石製品	伊賀焼	1月も先月に引き続き、寒い日が続き、伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館とも来客者数は昨年を下回った。売上については、伊賀焼伝統産業会館では、昨年を下回ったが、伊賀・信楽古陶館では、上回った。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、12月と同様に好調さは堅持されている。当組合で昨年より始めた景況に関するアンケート調査によると、前年1月から6月までの結果と比較して、14%増の傾向にある。売上比率で見ると、自動車関連と産業機械関連は4～5%の減少、電気半導体関連と建築関連は、2～3%の増加となっている。また、その他も4%増加しており、全体的に好調といえる。
	一般機器	四日市	原材料の値上がり傾向が続いている。組合員各社もコスト軽減に注力しつつ、現状を乗り切るため努力している。
電気機器	鳥羽	受発注ともに好調である。	
輸送機器	鈴鹿	引き続き繁忙な状態が続いているが、大手自動車メーカーは、「100年に一度と言われる大改革の時代に直面している。」とのことで、取引先からも危機感を持って、今年一年の活動計画を立てるようにとの指導があった。今まで以上の「即断、即決、即実行」でスピード感のある対応が求められる。	
小売業	青果	野菜：前半、寒波の影響で回復の見通しが立たない。キャベツ、白菜、レタス、ホーレン草が近年にない高値である。キュウリ、ナス、トマトは、年末に比べると値段が落ち着いてきた。果物：冷え込みの影響を受け、イチゴは例年より2割ほど高い。みかんも高値が続いたが、伊予柑、せとかが出回り始めれば、品薄感は弱まりそうである。野菜：後半、雪が野菜不足に追い打ちをかけ、高値である。白菜、キャベツは、例年の2倍の値段である。ホーレン草・小松菜は、値段が落ち着いてきた。トマトは、入荷が多くなり、価格も安くなってきた。果物：後半、みかん、イチゴの値段はやや下がり気味であり、リンゴもお手頃価格が続いている。伊予柑、せとかも値段は安定している。	
	自転車	日本自転車商協同組合連合会(日商連)より、2018年モデル(ホダカ製)自転車が出荷されるも共同購入において、組合への申込が近年で最少の数となった。中旬には、祝新入学通学車展示会を開催したショップが数店あった。情報によると近年で一番少ない児童数(6年生卒業)となっており、全体の生徒数から昨年比では上昇したものの、どの店もマイナス10台以上の報告が届いており、少子化の影響を現実感に感じている。2月から売り出しをかける店もあり、今後どこまで台数が伸びるか期待するところである。	

非製造業	小売業	電器	1月度は、年末商戦の反動で売上は厳しい状況にある。そこで、例年のことではあるが、お客様への訪問をどの店でも増やして、地域に密着した活動を地道に進めた。そのような中で、細かな注文を積み重ねた。活発なのは、リフォームに関わる仕事で、昨年から引き続き忙しくなってきた。また、水銀を含む蛍光灯などの廃棄物が、自治体のリサイクルセンターが受入れを中止する方向で進んでいるので、LED照明への切り替えを推進していると同時に、組合として対応を検討している。
		石油	1月度の燃料油販売数量は、前年対比5%前後の減販であった。燃料価格の値上の影響と寒波により、ガソリン販売数量が8%前後減販の状況であった。灯油については、寒さの影響により前年比をかなり増販できた状況であった。原油価格の上昇による販売価格の値上げについては、価格競争の影響により値上げが改善されない状況の為、収益面においては、厳しい状況であった。今後寒さは続くため、灯油販売及び冬商品の販売強化を図っていきたい。
		スポーツ	1990年頃までは、冬になるとウィンタービジネス（スキー用品の販売）があり、売上が上がる時期であった。しかし、現在では、組合員の店舗でウィンタービジネスを行っている店はない。寒波が到来し、雪が降ると胸を高鳴らせていたが、今は早く暖かくなってほしいと願うばかりである。来月からは、新年度の新入生の体操服販売等の仕事が始まり、忙しくなってくる。
	商店街	熊野	第6回目として開催された熊野のサンマをPRするイベント「熊野きのもと さんま祭り」は、熊野周辺の他、県外などからも含め約6,000名の集客があり、昨年以上の盛り上がりを見せた。今回は、三重県知事も会場に訪れ、マスコミ各社も大いにPRしていただいた。また、会場近隣の熊野古道を周遊した後、会場に訪れるツアーも組み込まれ、名古屋周辺のツアー客200名がさんま丸干しを堪能された。
	サービス業	旅館	年始の休みは短かったものの、次週の3連休もあったため、好天にも恵まれ、順調に集客を伸ばしていたようである。しかし、その後は集客が伸びず、1月全体では、昨年を下回っていた。秋より続いている対前年割れの傾向を打破するような強力な直近の集客対策と長期的なインバウンドに軸足を置いた誘客対策を推進する必要がある。
		旅行	昨年と比較すると25%の減少。増収は今後も望めないで、業務縮小も検討中である。 <b>(非公開情報)</b>
		警備	年始で土木建築作業が止まっていたので、その分の仕事量が減少した。
	建設業	建設業	受注額は、前年同月比では、やや増加しているものの、通年ベースで比較すると、7%程落ち込んでいる。この理由として、本年度は、前倒し発注の目標値が示されなかったため、発注が下期にずれ込んでるためと思われる。国の補正予算の枠組が決まったようなので、当県への配分が多くなされることを期待している。
		内装工事業	1月分は、対前年同月比でやや減少となった。年度末の流れで、前年並みの推移が予想される。
		水道工事業（四日市）	今月は、特に大きな変化は見られなかった。年度末にかけては、仕事量が多少増加しているため、人手が不足していることを実感している。
	運輸業	トラック	燃料費が値上がりしてきており、経費増により収益を圧迫してきている。

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	機械設備等の購入にあたり、何か情報があれば情報提供願いたい。
一般機器	四日市	国会が開催され、与野党の質疑が交わされている。経済を活性化させるための具体的な議論が乏しいのが、気がかりである。米国への依存度が高すぎる。
	伊勢	新年度補助金の紹介、申請のポイントなどタイムリーに案内をしてほしい。補助金の申請手続きは煩雑でかなりの苦勞を要するため、極力簡略化と審査のスピードアップをお願いしたい。
小売業	スポーツ	30年インターハイに向けての各市町の実行委員会向けのビジネスがあるが、普段様々なことに協力しているが、物品の購入というとなかなか有利に取り扱ってくれない。大変苦戦している。
サービス業	旅館	台湾東部の大地震に対して、観光関係団体より早急に支援活動に取り組んでもらいたい。